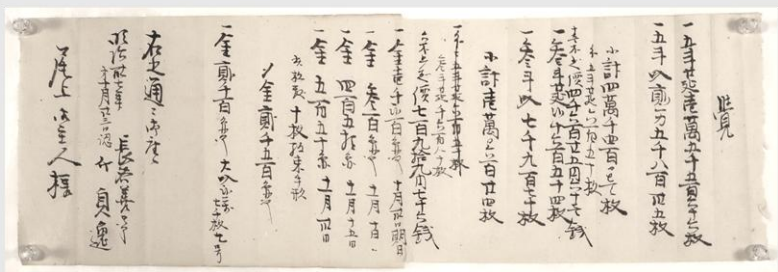
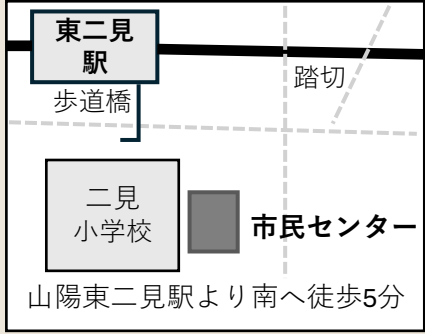




尾上家文書調査成果報告会

「近代二見の歴史を考える」

日時：2026年10月24日（土）13：30～16：30
 会場：二見市民センター1階 大会議室
 （明石市二見町東二見457-1）右図参照
 定員：50名程度（どなたでも参加可）
 費用：無料
 ※申込み不要。直接会場へお越しください。



尾上家文書のうち、尾上清兵衛宛て軍事郵便（左）、
 叭（かます）・筵（むしろ）の枚数代金勘定書（右）個人蔵

【主催】
 神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター
 明石市歴史文化財担当

【問い合わせ】
 明石市歴史文化財担当（市史編さん担当）
 TEL918-6115 FAX918-6215

開催趣旨

明石市と神戸大学は現在、市域に残る歴史資料を整理・保存し、研究・公開する活動に取り組んでおります。2024年より、二見地区の尾上家（市指定都市景観形成重要建築物）に残された膨大な史料群の整理に着手しました。調査の結果、明治～昭和前期の米穀肥料商の経営、二見港の諸産業や人びとの生活の様子を記す貴重な史料を多数発見しました。報告会では本調査の中間成果を発表します。

また、市民参加型の意見交換会を合わせて開催します。市と大学の調査成果を単に発信するだけでなく、参加者の皆さまとともに、昭和から現代までの二見の歴史や思い出を振り返り、未来に残す場としたいと考えております。皆さまの地域での思い出、エピソードをぜひお聞かせください。

プログラム

13:00～受付開始／13:30～開会

※プログラムの各報告の間は適宜休憩（5～10分）をはさみます。

1) 【開会の挨拶】

奥村 弘（兵庫県立歴史博物館・館長／明石市史編さん委員長）

2) 【調査概要の報告】＊15分

石橋 知之（神戸大学大学院人文学研究科学術研究員）

「尾上家文書調査と地域史料保全活用事業」

3) 【本報告】

義根 益美（明石市歴史文化財担当）

「明治期の東二見と尾上清兵衛」＊20分

出水 清之助（神戸大学地域連携推進本部特命講師）

「手紙から読み解く明治の二見―二見商人の海を越えた商い―」＊30分

茶谷 翔（神戸大学大学文書史料室特命助教）

「軍事郵便を読む―日露戦争の出征―」＊30分

4) 【意見交換会】＊40～50分（司会進行：石橋知之）

5) 【閉会の挨拶】

古市 晃（神戸大学大学院人文学研究科教授／地域連携センター長）